

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No. 8

大阪市北区錦町2-2 国労会館1F 大阪労連パート・非常勤部会 2008・4・30

府高教臨時職員部・臨時総会(4/26決起集会)に80名参加

署名が1,688筆持ち寄せられ、新たな組合員拡大の報告も



4月26日(土)の午後1時30分より橋下知事のPT試案で21年度全廃とされた臨時職員が臨時総会(決起集会)を開催し80名が参加しました。

開会にあたり、臨時教職員部長の小林さんは「一週間前に連絡網を使って連絡をし、『機関紙はぐるま2号を出さんとあかん』ということになり発行、緊急の臨時総会を開催した。手をこまねいて見ている訳には行かない。簡単に切られる訳にはいかない。私たちは縁の下の力持ち」と挨拶。

府高教の筆保委員長は「組合を結成してこんなに臨時職員が集まったのは初めて。教職員へ緊急署名を呼びかけ1週間で約7000筆集った。短期でこんなに集ったことも記憶にない。働く権利、人間の尊厳を崩してはならない。不安定労働・労働条件を改善することこそ必要で、切りやすい所から切っていく事は許されない。PT試案は、赤字の支払いを30年かけるのではなく10年に縮める、それを今の人に支払わせるというもの」と挨拶しました。

☆4月30日に第一次署名提出(10,000筆以上を集約)、署名の最終は5月中旬頃まで!

☆周りも頑張るけれど、自らガンバルことが大切、教職員と府民の団結で撤回させよう!

PT試案の内容と展望について府高教本部書記局から説明がありました。「H20年は約1,100億円、H28年までに総額6,500億円の改革取組額としているが、この数字には何の根拠も道理もない。財政再建は必要だが府民の生活を切り捨てての再建ではダメ。」「橋下知事はマスコミを動員し、5月1日に教育委員会とのヒヤリング(P.Tチーム)、連休明けに素案提出、6月5日頃に知事査定、7月に議会提案をしようとしている」「学校長から府に具申してもらうこと、PTAや分会、教職員と懇談すること、学校行事にはスタッフの一員として組み込まれているなど、臨時職員がどんな仕事をしているかを知ってもらうことが必要」「一人ひとりが周りの教職員に働きかけること、自らが頑張ることが大切、教職員と府民の団結でPT試案撤回を」……

怒りの発言 次々に

自己アピールが苦手な人も組合に加入する事はできる。「仕事を続けたい」と宣言しよう！

私は今年で18年目になります。…さまざまな運動をすすめていく中で組合に入りました。総会や学習会など何となく参加していましたが、同じ仕事をしている仲間からたくさんのパワーをもらいました。そして、「有給休暇の取得」や「正規教職員と同じ健康診断を受けられる」など、少しずつ待遇改善の兆しが見えてきて、やはり数は力、活動は必要なんや、それと府教委がやっと私たちの働きを評価して必要な職種と認めてくれつつあると嬉しく思った矢先、この大どんでん返しです。橋下知事に申し上げたい。あなたは「みんなで少しずつ我慢をして大阪をよくしていこう」と涙ながらに訴えました。あなたにとって100万円の収入を失うことはほんのわずかな痛みでしょうが、私たち臨時職員にとってはたった100万円が年収の全てなのです。あなたにはかすり傷程度に感じるものでも、私たちには命を脅かす致命傷なのです。泣けばなんとかなるというなら私も泣きましょう。あなたが後日の記者会見で「まさに絶妙のタイミングで泣けた」と笑い話にしていたのに至っては、全く「ふざけるな！」と言いたい。弱者を切り捨てれば大阪が良くなるのでしょうか！表面だけ見ないで、しっかり現実を掘り下げて見極めていただきたい。私たちを切り捨てては学校はやっていけないところにきています。…私は今、複雑で、時間のかかる仕事は後回しにしています。もし今年限りで雇い止めになるようなことがあれば、たった一人でやってきたので、私のやり残した仕事の続きをやってくれる人手はありません。図書館は開かずの間となり、20年近く勤めてきた経験やノウハウは誰にも伝えることなく終わることになると思うととてもむなしいです。これから1ヶ月しかない期間で、どのような運動を展開していくのが良いかみんなで考えなくてはなりませんが、運動のための自己アピールが苦手な人にもできることは、とにかく組合に名を連ねることだと思います。数は力ということは今までの運動の中で実感しています。私も自分の職場ではアピールできなくて、特に自分のためにお願いして回るといのは苦手です。でも、今回はそんなことを言っている場合ではないと危機感を募らせています。まず、「自分は仕事を続けたいのだ！」と宣言することから始めましょう！

被害者は生徒！ 私たちの涙は纯粹！ 「許さないぞ！橋下君」 トコトん頑張りましょう！



家庭科の実習助手。勤続30年のうちで、こんなひどい話があったのでしょうか。…現場も知らない橋下さんが1100億円の削減のためにこんな弱い立場の私たちを切り捨てようとしています。…職場の先生方からも「許せない」の声があがっています。分会の先生方も新学期が始まり、たいへん多忙な中、署名集めに奔走して下さり、全員の署名を集めていただき胸熱くなりました。たとえ身分はパートであっても、学校の中での仕事の存在は大きいのです。弱い立場の私たちだから簡単に切り捨てられると思ったら大間違いです。「許さないぞ！ 橋下君！」 スイミーの物語ではないのですが、小さな力を結集して大きな力にしてこの荒波を乗り越えなくてはなりません。…企業への甘やかし、関空2期工事の莫大な支出、数え切れないほどのムダ使いを見直し、教育の現場を混乱させるような事態を絶対許すわけにはいきません。撤回に向けて頑張りましょう。

息つく暇なく働いている。知事に見に来て欲しい！

教務補助で3年目。連絡や電話はすべてとっています。印刷、メール回覧、在学や卒業などの証明書すべて発行しています。生徒手帳も発行しています。やりがいがある仕事です。困難校でテキストはオリジナルで印刷し製本しています。「いなくなれば困る」と先生方は言ってくれています。

今、たたかう時 最後までたたかう！

困難校のレッテルが貼られた学校で家庭科の実習補助をしています。安全ピンをいっぱいつけた、頭にタオルを巻いた、鼻や耳に穴を開けた生徒が通っています。家庭科のハサミやアイロンも凶器になります。いつハサミがこちらに向かってくるかわからない中で、先生一人ではやれなかったと思います。その子らがミシンを一生懸命踏んでいる姿を見て、先生は「やっていて良かった」と言っていました。後片付けから用意まで自分たちですべて行います。今、闘うときです。

府高教の分会の存在意義をかけてたたかう！ 教職員からも決意表明

理科の学年主任をしています。生徒はズボンをよく破ります。「家庭科に行ってズボンを縫ってもらった」など、生徒は授業だけでなくあらゆる場面でお世話になっていて、生徒にとっては先生です。分会長と手分けをして、教職員に署名を取りました。まだまだ動きになっていない職場もありますが、府高教の存在意義をかけてたたかいます。まずやりやすい職場から運動を進めましょう。教職員の賃金10%カットとリンクして闘います。取り組み遅い職場には出かけても行きます。

などなど 発言は続きました。

4月 5月は組合員拡大推進月間です

新採さん いらっしゃーい！

広げよう 仲間の輪

(大阪自治労連 関連評ニュース 4/23より)

4月21日現在、大阪自治労連は75名の非正規・関連の仲間を新たに迎えました

今年もたくさんの非正規の仲間を職場に迎えられたことと思います。

先日の幹事会で仲間づくりの交流をしたところ、加入申し込み書とチラシを用意して5月から各園ごとに配る(東大阪保育士)、本庁に50名以上はいった非正規職員対象に組合説明会が開かれた(岸

和田)、お食事会で気楽に組合の大切さを話し、「安心して働き続けられる職場にするために組合に入って」と訴えている(堺介護認定員)、未加入者も多いので新採と合わせて加入を呼びかけるチラシを配布した(豊中指導員)、新採事務研修の中での先輩指導員からの説明の場で訴え、一気に加入(吹田学童保育指導員)などの経験が出されました。

自治労連は、5月21日(月)夜、グリーン会館で「アルバイト・嘱託保育士しゃべり場」を開催し、未加入のアルバイト・嘱託保育士の人にも参加を呼びかけています。

